

「自然と調和した、

ふれあい・安心安全・

住みよいまち」を目指して



町長
野川 和好

施政方針

県施行の北部の区画整理事業が昨年7月に終了し、同地区の町名も「学園、内宿台、西小針」へと変更をいたしました。また、中部地区の都市基盤整備も進み、良好な住宅地が形成されてきたことから、町外からの転入者も多く、昨

年行われた国勢調査では人口増加率が県内第1位となりました。一時期の急激な増加のピークは過ぎたものの、人口は現在もなおゆるやかな増加を続けております。さらに、出生数も月に30人から40人という状況であり、若い家族が集う活気にあふれる町として発展を続けております。

このような状況の中、平成22年度からは、新しい伊奈町総合振興計画後期基本計画に

より、町の自立性を高めながら町民の皆様との協働・共生によるまちづくりに取り組んでおります。

平成22年度は、町制施行40周年の記念すべき年であり、町主催の各種事業を行い、また各種団体のご協力によりいろいろな事業を行っていただきました。関係各位に深く感謝申し上げる次第です。



町制施行40周年記念式典

福祉関係では、子ども手当の支給、民間保育所3か所開設のための助成など、また観光関係では、伊奈ローズチャ

ン、伊奈ローズくんの着ぐるみ作成の助成、都市計画関係では、町営住宅が完成し、入居者の募集を行いました。教育関係では、小針小学校体育館・プール棟改築工事、第1期の南小学校校舎耐震補強工事を行いました。

このような状況ではありませんが、平成23年度は、町制施行から41年目となり伊奈町として新たな時代を迎える第一歩を踏み出す年です。伊奈町総合振興計画後期基本計画に基づき、「ふれあい」、「安らぎ」、「支え合い」を基本理念としたまちづくりを引き続き推進するとともに、第5次伊奈町行政改革大綱による事務改革・財政改革・職員改革の3つの改革をさらに推し進め、4万2千有余の町民の皆様への負担に配慮してまいりたいと考えております。

町総合振興計画
後期基本計画に基づく
23年度の主な施策

心豊かな人と文化を育む

教育・文化面では、小針小学校旧体育館の解体および外構工事を実施するほか、今年度度引き続き第2期の南小学校校舎耐震補強工事および第1期の伊奈中学校校舎耐震補

強工事に着手し、教育施設のさらなる充実を図ってまいります。

また、丸山スポーツ広場のテニスコートを改修するほか、ふれあい活動センターのトレーニングマシン等の全面リニューアルを行い、スポーツ・レクリエーション環境の整備を進めます。



校舎耐震補強工事(第2期)を行う南小学校

すこやかで心安らく福祉を育む

健康・福祉面は、大変厳しい財政状況ではございますが、私のマニフェストにもございます子どもへの安心安全について、特に重要な施策であると判断いたしました。各種の新たな施策を開始いたします。

まず、保育所待機児童の解消を目指し、従来の3町立保育所の定員250名に加え、来年度から3つの民間保育所を開所し、240名を新たに受け入れる体制を整備いたしました。これらの民間保育所では、地域子育て支援センタ

1が2か所、病後児保育を1か所で実施し、子育て支援の充実にも努めてまいります。さらには、小学校就学前の児童を対象とした入通院に係る医療費助成の年齢枠を、中学校卒業までに拡大するほか、乳児のいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を行い、子育て世代の方々への支援を図ります。

健康面では、従来の予防接種やがん検診推進事業を引き続き実施するほか、中学1年生から高校1年生の女子を対象とした子宮頸がんワクチンの接種、5歳未満の幼児を対象としたヒブおよび肺炎球菌ワクチン接種に係る費用を全額補助し、だれもが安心して医療を受けることができ、疾病予防のできる体制を整えます。

みどりつるおつ美しい環境を育む

安心安全のまちづくりのため、町内3か所目となる防犯モデル地区の指定を行い、防犯意識の醸成を図るほか、町内全域において、引き続き道路照明灯や交通安全施設の設置による交通環境の整備を進めてまいります。

交通環境の整備では、町からの強い要望により丸山駅に

エレベーターを整備することについて、町、埼玉県および埼玉新都市交通株式会社間で協議が整い、応分の負担を行い整備をいたします。これにより、乗降客の利便性の向上が図られるものと考えております。



エレベーターの整備を行う丸山駅

また、町民の方々の足となっている循環バス「いなまる」については、老朽化したバスの入れ替えを図り、より快適で安全な運行を図ってまいります。

生活基盤の整備としては、引き続き「いな穂街道」の拡幅歩道整備に向けての用地買収を進めるとともに、北部の区画整理事業終了地区に隣接する高野屋敷敷宿之内線を整備いたします。

中部土地区画整理事業においては、引き続き伊奈中央駅付近の公園予定地に浸透管布設工事を行います。

上水道事業では、配水場配水池の耐震補強工事と老朽箇所の改修工事を実施すると

もに、災害時における飲料水確保を目的として内宿台公園に耐震性貯水槽を設置いたします。



耐震性貯水槽を設置する内宿台公園

下水道事業では、氷川団地での供用を開始するため、地区内の面整備を行います。

また、消防面では化学消防ポンプ自動車の入替えを行い、消防体制の強化に努めます。

暮らしと活力を支える産業を育む

農業振興として、農道および排水路の補修・整備に努めるとともに、農業の担い手の育成、地産地消の推進などに取り組んでまいります。

また、商工業振興として、景気低迷のなか、町商工会と連携しながら中小企業の経営の安定化を図ってまいります。

町商工会では、B級グルメの開発、商業活性化のための情報発信、観光協会では、町内の観光スポットを巡れるよう、町内のニューシャトル各

駅にレンタサイクルを配置す

る事業を開始することから、両団体への積極的支援を図ります。

いきいきとした参加型社会を育む

引き続き人権啓発・男女共同参画の推進を図ります。

行政運営といたしましては、町民にとってわかりやすく、機能的な組織とするための機構改革を行います。具体的には、従来の保健センターが所管していた健康政策を、より充実させるため健康増進課を、また医療・保険に関する窓口の一本化と事務効率の向上を図るため、保険医療課を新たに設置します。

さらには、総合センターの指定管理者制度導入にあたりましては、児童館事業の一層の充実を図るため、指定管理者による運営を開始いたします。

予算編成方針

国の平成23年度地方財政対策におきましては、企業収益の回復等により、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加する一方、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移することから、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれて

おります。

町の財政状況につきまして、町税の微増や地方交付税等の増加を見込むものの、医療費の助成拡大や民間保育所運営費の負担などの事業を継続していくためには多額の財源が必要となります。また、臨時財政対策債については、地方債残高を押し上げる強い要素のひとつであり、高い水準にある借入金金の償還は町の将来の大きな負担となること

が想定されます。こうした厳しい財政状況の中ではありますが、伊奈町の新時代にふさわしい第一歩を踏み出すための、地域に必要なサービスを確実に提供できる安心安全なまちづくりを進めてまいります。同時に、昨年度に引き続き、一部事業について平成22年度への前倒し事業として補正し、平成23年度予算と一体となった切れ目ない執行に配慮したほか、一層の節減合理化や施策の厳選等を行いました。事業の実施にあたりましては、効率的で効果的な財源配分に努めるとともに、地方債の活用や基金の取り崩し等により財源の確保を図り、平成23年度予算を編成いたしました。予算詳細は次頁以降へ